

---

# 歪みの中のフルクイーン

輝奈

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

歪みの中のフルクイーン

### 【Nコード】

N5048Z

### 【作者名】

輝奈

### 【あらすじ】

主人公・鬼頭 桜良は世界で唯一の複数能力保持者。体内に最古の王妃を宿している。

## 顔合わせ1（前書き）

今回は私がタブン一番本気で書いたものと思われる作品です。  
まだ、ホンリヨウ発揮は出来ていないと思いますがどうぞお付き合  
いください。

## 顔合わせ1

目の前に聳える庭。

鼻をつく花の香り。

スカスカのエナメルバツクをバラのアーチの前でおろすと「絶望」という文字が脳裏をかすめる。

何！？　ここ。

はあ！？何！？

やっと、やっと開放されたと思ったのに、人目からも自分からも道を間違えた？

念入りに地図を確かめ手もココが目的地のはずなのだ。

とにかく、おろしたばかりのエナメルバツクをだるそうに持ち上げバラのアーチをくぐる、仕切りを跨いだことによって強くなる花の香は彼女に悪酔いを起こさせた。

季節を問わず咲き乱れる花々、可愛らしく並ぶ陶器の動物たち。

庭というよりは異次元の入り口だ、まあもつとも道を間違えていなければ異次元の入り口なのだが。

いくら進んでも見えない入り口。

池があり、川があり、湖があり、石橋があり見るもの全てが「草」「木」「花」同じところを回っているように思うには見る景色が似ているからだろうか。

「君にはドアが見えないのかい？」

風混じりに澄んだ綺麗な声が聞こえてくる、木と木の間には声の主

はいた。

ブランコに自分の半分以上もあるぬいぐるみのクマと乗り、漕ぐこともせず少女は彼女を見つめる。

ぶかぶかのパジャマのせいで見えているのは右手だけだった。

「鬼頭 桜良くんだね？ボクはリンだよ。」

キラメル色の髪と漆黒の瞳の少女に桜良はニコっと笑いかける。

「よろしくね？ お出迎えも無で迷ったのかと思ったわ。」

柔らかな笑みに似合わない毒を桜良は軽く放つとリンに近づき指を鳴らすと、ジワジワとリンは消えブランコだけがそこに残った。

「ドア、ね。」

消えたことをさも当たり前のように受け流すと桜良は地面をポンと蹴り地面から体を離れた、落ちることなく重力に逆らい宙にとどめる。

「ハイド、全てを映して。」

視界がグニヤリと歪み赤く染まると、大きな「歪」が姿を現す。

桜良は「歪」のまえにおりたち、シャボン玉のように揺らめくそこを躊躇わずにくぐった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5048z/>

---

歪みの中のフルクイーン

2011年12月17日01時55分発行